

報道機関各位



我孫子市

Abiko city

平成29年6月27日
定例記者会見資料

今年“酉年”特別企画「鳥・酉・鶏・とり—酉年はトリで楽しむ—」開催

今年の干支「酉年」に合わせて、平成29年7月15日（土）から、山階鳥類研究所と共催でヒトと鳥との関わりについての特別企画展を開催します。

今回の特別企画展では、JSACが所蔵する世界最大級の品種の鶏「ブラマ」やインドネシア原産の黒い鶏「アヤム・セマニ」など、また、東大総合研究博物館が所蔵しているベトナム原産の「ドンタオ」など、様々な品種の鶏の標本を展示します。また、山階鳥類研究所所蔵の「オナガドリ」の標本や、ジョン・グールドの「鳥類図譜」などの貴重な図書も展示します。

なぜ「酉」は「鶏」と違う漢字なのか？「酉の市」とは？鶏の卵の大きさは何で違ってくるのか？など、トリにまつわる小話など、身近なトリの疑問が分かる展示など、盛りだくさんな展示内容となっております。

【特別企画展概要】

テーマ：第78回企画展「鳥・酉・鶏・とり—酉年はトリで楽しむ—」開催

期間：平成29年7月15日（土）～平成29年11月26日（日）

場所：鳥の博物館2階企画展示室

主な内容：野生動物としての「鳥」、暦としての「酉」、家禽としての「鶏」、芸術の対象としての「とり」の4つのテーマからヒトと鳥の多様な関係について紹介します。

展示：展示数 101点

・鳥の剥製標本 40点、（その内、鶏の剥製標本 15点）、図書（図譜等）6点、模型1点、複製画2点、その他鳥にまつわるパネル展示 52点

【問い合わせ】

我孫子市鳥の博物館

担当 美濃

☎ 04-7185-2212

○主催

(公財) 山階鳥類研究所、我孫子市鳥の博物館

○協力

JSAC

門川大作氏 (京都市長)

家畜資源研究会

東京大学総合研究博物館 (五十音順)

○展示内容

I 鳥—ヒトとトリの出会い—

人と鳥が出会ってから現在に至るまで、どのような関係が続いてきたのでしょうか。狩猟道具等の展示を通して野生の鳥との様々な関わりについて紹介します。

展示資料：鳥の剥製標本や狩猟道具など

II 酉—暦の中の鳥—

十二支の鳥はどうして鶏と漢字が違うのでしょうか？酉を含む十二支にまつわる小話など、知っているようで実はあまり知られていない「酉」について紹介します。

展示資料：干支や十二支に関連する紹介パネル

III 鶏—生活を豊かにする鶏—

私たちの生活に必要な不可欠な鳥の一つである鶏。どのような過程で鶏は現在の姿になったのでしょうか。鶏の起源や品種の多様性について紹介します。

展示資料：ドンタオやオナガドリなどの鶏の剥製標本など

IV とり—鳥へのまなざし—

多くの人が鳥に魅了され、鳥をモチーフにした作品を作り出してきました。その中には鳥の形態や色彩、そして生態を記録する目的で描かれた作品もあります。絵などの美術作品を通じて、鳥の捉え方を紹介します。

展示資料：ジョン・グールド「鳥類図譜」やシーボルト「日本動物史」などの図書資料、若冲「動植綵絵南天雄鶏図」フィギュアなど

借用資料リスト

資料名・品種名	種類	所蔵	備考
セキショウヤケイ	剥製標本	JSAC	
ハイロヤケイ	剥製標本	JSAC	
アオエリヤケイ	剥製標本	JSAC	
ホワイトレグホーン	剥製標本	JSAC	
名古屋コーチン	剥製標本	JSAC	
横斑プリマスロック	剥製標本	JSAC	
ブラマ	剥製標本	JSAC	
ブラックジャージー・ジャイアント	剥製標本	JSAC	
アローカナ	剥製標本	JSAC	
アヤムセマニ	剥製標本	JSAC	
ドンタオ	剥製標本	東大総合研究博物館	
ウコッケイ	剥製標本	東大総合研究博物館	
オナガドリ	剥製標本	山階鳥類研究所	
南米の鳥	剥製標本	山階鳥類研究所	
グールド「鳥類図譜」原本	図書	山階鳥類研究所	展示期間中に入れ替えて展示
テミンク「新編彩色鳥類図譜」	図書	山階鳥類研究所	展示期間中に入れ替えて展示
セルビイ「英国鳥類学図譜」	図書	山階鳥類研究所	展示期間中に入れ替えて展示
小泉勝爾・土岡春郊「日本鳥類写生大図譜」	図書	山階鳥類研究所	展示期間によってページ替え
シーボルト「日本動物史」復刻版	図書	山階鳥類研究所	展示期間によってページ替え
シャープ「カワセミ科鳥類図譜」	図書	山階鳥類研究所	展示期間によってページ替え
伊藤若冲「南天雄鶏図」フィギュア	模型	家畜資源研究会	
伊藤若冲「雪中雄鶏図」3分の1複製画	複製画	門川大作氏(京都市長個人から借用)	